線まひ 人影響

号は17日に中
断、日本海に
日未明に熱帯
。18日始発ま
市内でも雨は
18日にかけて
数値が超過、
安全確認のため
始発からの運行見合わせにつながった。JR西によると、雨量計の数値超過で運休した場合、雨がやんでから4時間前後経過し、安全確認をしなければ再開できない規定になっている。

JR西近畿統括本部は「ご迷惑をおかけし申し訳ない。台風通過後の状況判断を今後の課題として取り組みたい」とコメント。JRは運休しなかった私鉄より規制値が厳しく、大規模運休につながったとしている。

一時運休は東海道線の京都―吹田間など14路線15区間で、このほか阪和線の一部区間はすぐに再開した。他の路線でも本数を減らして運行した。「くろしお」など京阪神を発着する全ての特急も運行を見合わせた。大阪駅を含む東海道線の神戸―吹田間は運休しなかった。

JR以外の京阪神の私鉄各線は大規模な運休はしなかったが、ダイヤが乱れた。阪急京都線は雨量が規制値を超えたため、18日の始発から午前9時45分まで徐行し、約1時間の遅れが出た。阪神本線も、JRに乗れなかった乗客による混雑の影響で遅れた。

東海道新幹線は始発から全線で運行したが、一部区間で速度を落としたため一部が十数分遅れた。山陽新幹線は通常通り運行した。

く 後旧

ごろに県内を
る便から運行を
た。
と和歌山を結ぶ
ェリーは始発か
らの4便が欠航したが、午前8時発の上り便から運航を再開した。オーシャン東九フェリーは午後2時20分発の下り便が欠航となった。

県道路整備課によると、午前9時時点で県管理の国道、県道18路線24カ所の通行止めが続いている。

四国電力徳島支店によると、正午時点で停電しているのは三好市148戸、つるぎ町421戸、東みよし町52戸。四国電力は約190人態勢で作業に当たり、復旧を急いでいる。

三好市と那賀町で自主避難していた4世帯4人は18日朝、全員が帰宅した。

（坂田佑耶）

合わせる

流された女子高生か

埼玉の用水路で遺体

18日午前9時45分ごろ、埼玉県上尾市領家の用水路で、若い女性の遺体が見つかった。女性は高校の制服に白いかっぱを着用。台風11号の影響で増水した用水路に流された女子高生とみられ、上尾署が身元の確認を急いでいる。

署によると、見つかったのは、流された同県桶川市の用水路から約2・8キロ下流。県防災ヘリが発見した。

東海道線 1600人4時間缶詰め

17日午後10時50分ごろ、京都府大山崎町のJR東海道線山崎駅近くで雨量計が規制値を超え、敦賀発姫路行き新快速電車（12両編成）が止まった。電車は立ち往生し、乗客約1600人が4時間近く閉じ込められた。

JR西日本や乗客によると、新快速は山崎駅の約100メートル手前で停車。ホームに止まっていた特急サンダーバードで身動きが取れなかったが、前方にずらし、18日午前2時40分ごろ駅で乗客を降ろした。

約300人は帰宅手段がなく、車内にとどまるなどして午前5時ごろ、並走する阪急京都線の駅に向かった。サンダーバードは列車ホテルとして開放された。

車内は混雑し、嘔吐する乗客も出た。消防によると、搬送された男女19人のうち、男性1人は自力で歩けない状態だが、全員意識がある。

気分が悪いと訴える乗客が続出。地元消防などが男女19人を搬送した。

きょうだい 介護に直面

増える高齢障害者 専門家「福祉制度利用を」

暮らしアイ

高齢の障害者が増え、きょうだいが介護問題に直面している。世話をしてきた親はさらに年老いており、それぞれを助けていかなければならなくなるからだ。習慣の違いや障害に戸惑い、不安になる人も多い。専門家は、事前に親と話し合ったり、福祉サービスを積極的に使ったりするなどの準備が必要だと指摘している。

2歳年上のダウン症の兄がいる東京都の持田恭子さん（49）は会社員だった2007年、突然兄と母親（81）の世話をすることになった。母親が転び、介護が必要になったためだ。

実家から5分の場所に転居。朝5時半に家を出て、母親の着替え、作業所に通う兄のひげそりや歯磨きを手伝い、出勤。帰宅後も世話に追われた。身だしなみにも気を使えなくなり、左右別の靴で出勤したこともある。突然泣きだす兄を見るたび途方にくれた。

2年間続けたが、心身ともにぼろぼろに。周囲の説得で母を有料老人ホームに、兄を福祉施設に入所させた。

「制度はあっても気持ちのハードルが高かった」と振り返る。今は障害者のきょうだいを持つ人向けの団体「ケアラー・アクション・ネットワーク」をつくり、問題解決に取り組む。

障害者は外出時の付き添いやグループホームへの入居など、障害の程度に応じて障害福祉サービスを利用できる。しかし希望する施設に入れない場合もあり、親の世話を受け続ける人が少なくない。親も「自分の責任」といった思いから福祉サービスを使いたがらない場合がある。このため、親が倒れるとたちまち生活に行き詰まる。

一方で、医療の進歩などを背景に障害者の高齢化は進む。内閣府によると、自宅で暮らす65歳以上の身体障害者は11年時点で265万人と、1991年から20年間で約2倍に増えた。最後まで親が面倒を見るのは難しく、高齢期の生活をきょうだいが託されることになりがちだ。

全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会（東京）にも「親が世話できなくなった時が心配」「親が話し合いを嫌がる」といった相談が寄せられている。

きょうだいはどんな役割を果たせばいいのか。この問いに対する明星大の吉川かおり教授（障害学）の答えは「本来は、健常者のきょうだい同士と同じくらいの助け合いでいいはず」と明快だ。若いうちから福祉サービスを適切に利用した方がよいと主張する。

「障害のある子どもの世話が生きがいになり、抱え込む親もいるが、大人としての人生を歩めるようにサポートするべきだ」。

障害のある兄と話す持田恭子さん
＝東京都内

時事柳壇

【紙面編集】森本潤

森を出て小さな家にたどり着き
小松島　井村　晃

大見えの五輪の顔を白塗りに
徳島　沢田　博昭

物理の神謎解き理論おいて逝く
吉野川　石原恵津子

暴風も避けて通りて巣が残り
美馬　南　登美子

四季の森

つながつて一灯づつの夜店の灯
岬　雪夫

神社やお寺の縁日、商店街の祭りなどで道の両側に軒を連ねる夜店。にぎやかな呼び声のなか、食べ物からおもちゃや亀の子までさまざまなものが商われる。暗がりのなかに灯された明かりの下では、おいしそうな匂いやカラフルな色彩があふれ、昼間見慣れた通りとはまったく違う町に映る。店から店に渡された裸電球が、目的もなくぶらぶらと行き交う客の動線とも重なっているようだ。「天衣」主宰。

土肥あき子（俳人）

徳島新聞住宅総合展示場
松茂住宅公園

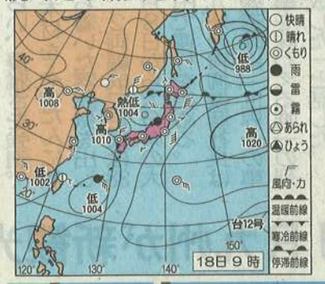
紙面案内

うどんのルーツは奈良？ 2
報告書で「いじめ」認定へ 3
田中7回3失点で6勝目 6

今夜からあすにかけて湿った空気が流れ込むため雲が広がりやすく、あすは県南部を中心に雨が降りやすいだろう。3連休は不安定な天気が続くため雨具を持ってお出掛けを。

社内配布紙

お天気



	今夜 18～	今夜 0～	あす 6～	あす 12～	あす 18～	最高気温 / 最低気温	降水確率（%）
徳島	★	★				29 / 24	10 30 30 30 20
池田	★					29 / 21	10 30 30 30 20
阿南	★	☂				27 / 22	10 50 30 50 20

あす 風 南日中南東　波 県北1.5～2.0 県南2.0～2.5

7月19日（旧6月4日）先負
日出 5・03　日入 19・12
月出 7・53　月入 20・58
満潮 7・30　20・32
干潮 1・38　14・00
（小松島港標準　中潮）
月齢 3.1

	19日（日）	20日（月）	21日（火）	22日（水）	23日（木）	24日（金）	25日（土）
徳島	29 / 24						
	30	40	40	40	20	20	40
札幌	19						
	80	10	10	30	20	20	20
東京	25						
	30	40	40	30	30	30	30
名古屋	24						
	30	30	40	40	30	30	30
大阪	25						
	20	30	40	40	30	20	20
福岡	30 / 23						
	50	50	50	50	30	20	20
那覇	30 / 27						
	60	60	60	30	30	30	30

随時受講生募集中
徳島新聞カルチャーセンター
徳島本校 ☎088-665-8500
徳島そごう校 ☎088-611-3355
鴨島セレブ校 ☎0883-26-0730
阿南アピカ校 ☎0884-24-3070
購読お申し込み 0120-46-1940 www.topics.or.jp